

児相虐待相談相次ぐ

「宿題」「スマホ」原因に

外出自粛でイライラ…

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、親が子供に暴力を振るうなど虐待に関する相談が、児童相談所に相次いで寄せられている。自宅でも長期間過していることがストレスになっているとみられる。緊急事態宣言の延長により都内の外出自粛は続くことになり、専門家は「誰かに悩みを打ち明けるなどして、ストレスを和らげることが大事だ」とアドバースする。

(山田睦子、鍛冶明日翔)



相談を呼びかけるポスターを掲示する江戸川区児童相談所の職員

4月下旬、江戸川区の民家から110番が入った。警察官が駆けつけると、室内に親子が争った跡がある。「『宿題をやれ』と言ったのにやらない」。親は子供に手を上げた理由を説明した。児童虐待の疑いがあるとして、江戸川区児童相談所に通告された。

4月1日に開設された同児相は28日までの4週間で、135件の虐待相談に対応した。このうち、「スマートフォンで遊んでばかり」などの理由で親が子供に暴力を振るう「身体的虐待」は28件。子供を一時保護するなど緊急の対応に踏み切った事例もあった。

また、ゲームに熱中する夫に妻が注意したことがきっかけで殴り合いになるなど、ささいなことが原因の夫婦げんかも多い。子供が夫婦げんかを前にして、毛布をかぶって隠れていたという事例もあり、こうした「心理的虐待」は78件に上る。対応件数は日を追うにつれて増えており、同児相の上坂かおり援助課長は「外出できずにイライラ感が募っているうちに、家族全員が家にいて逃げ場がない」と分析する。世田谷区児相でも、夫婦げんかに驚いた子供の泣き声を心配した近隣住民から通報が入るなど、4月1〜24日に約60件の虐待相談に対応したという。

こうした虐待事例の増加を懸念し、厚生労働省は4月10日、全国の自治体に対し、児相と学校の連携を強化し、虐待リスクのある子供の状況を把握するよう求めた。しかし児相職員が家庭訪問すると、感染拡大を理由に面会を断られるケースが続出。そこで江戸川区児相では無料通信アプリ「LINE」のビデオ機能

で、子供本人の姿を直接確認する試みを始める。また別の区では、ネグレクト(育児放棄)の傾向がみられる家庭に対し、原則休園としている保育園の利用を促すなどしている。担当者は「親子だけで過ごすストレスが増大する恐れがある。親と子供の双方の負担をできるだけ軽減したい」と話す。我が子を虐待しそうになったら、どうすればいいの

か。日本アンガーマネジメント協会の安藤俊介代表理事によると、少しいらつく程度でも、不安や疲れなどのストレスがたまっていると、怒りが爆発することがあるという。安藤代表理事は「余裕がなくなると、相手に厳しくなりがち。この状況で子供の勉強が進まないのは当たり前と考えるなど、自分にも相手にも『甘くなる』ことが大切」と話す。

ナビ検索「奥多摩湖」1位

先月第4週 感染深刻化前と激変

経路検索大手「ナビタイムジャパン」(東京都)は、同社のカーナビゲーションアプリで、利用者が都内の

◆カーナビアプリで経路検索された回数が多かった目的地

4月19日～4月25日		1月26日～2月1日	
1	奥多摩湖 (奥多摩町)	1	羽田空港国内線旅客ターミナル (大田区)
2	スーパービバホーム 豊洲店(江東区) ▲	2	六本木ヒルズ (港区)
3	コストコ 多摩境倉庫店 (町田市) ○	3	東京駅八重洲中央口改札前 (千代田区)
4	ジョイフル本田 瑞穂店 (瑞穂町) ▲	4	東京ミッドタウン (港区)
5	羽田空港国内線旅客ターミナル	5	東京ビッグサイト(江東区)

ナビタイムジャパンの資料を基に作成 ▲はホームセンター、○はスーパー

目的地进行検索した回数を分析した。4月第4週(19〜25日)の検索回数1位は、行楽地の「奥多摩湖」で、2〜4位は大型のホームセンターとスーパーが入った。新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する前の3月以前とは、目的地が様変わりした。

同社は1月26日から1週間ごとにアプリの検索結果を集計し、検索回数が多かった20位までの施設や場所

性能が高い。行政や学校は合わせ、虐待リスクの高い家庭を支援していかないと話などあらゆる手段を組み

家でいじめもの日企画様々

を家庭での「コミュニケーション」に役立ててほしいと

公開し、「他人の物を勝手に使わない」など、(土ま)

「赤毛のアン」のアンが

コロナくらしの掲示板

0120・296・004 (平日午前10時～午後5時。5、6日は開設) 簡単な日本語を含めた14言語に対応し、多様な相談を受け付け。外国人向けの情報提供のほ